



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

きずな NEWSLETTER

蓮田・白岡地方ユネスコ協会
発行人:会長 田村勝彦

VOL.31
31, 8, 2024

◆ 目 次 ◆

蓮田市との包括連携協定締結式報告・・・1	In Focous「海と触れ合う感動体験を」・・・3
会長コラム「U-Smileにむかって」・・・1	会員紹介・・・3
In Focous「平和の鐘を鳴らそう」・・・2	活動記事・・・4
In Focous「蓮田市さくらまつり」・・・2	今後のお知らせ・・・4

蓮田市と当協会との包括連携協定締結式が挙行される

蓮田市役所 2024年8月8日(木)

当日は蓮田市政策調整課小島坑課長の司会進行で開式から始まり、山口京子市長・田村勝彦会長の署名と進みました。

署名後、田村会長から「創立して17年目に斯様な協定は大変感慨深いものがあります。協定に基づき平和活動と教育・子どもの支援の各種の分野で連携協力をお願い致します。」と伝えると、山口市長からは「今後は施設利用やPRの面で協力し、お互いに連携して様々な活動をサポートします。」と、言葉を頂きました。その後、市長・会長が協定書を掲げ出席者全員での記念撮影となりました。

懇談、閉式につづき、マスコミ数社取材からの、質疑応答もありました。

今日の栄誉・感動を次代に引き継いでもらう期待をもって、学生青年部の部長 長井 杏海さん、副部長 江原美鈴さんにも陪席して頂きました。

今後、当協会は協定書に盛られた活動に真摯に取り組み、地域社会の向上と社会的課題の解決を図るよう精一杯の努力をしていきたいと思っております。

以下出席者名・(敬称略)

蓮田市

市長:山口京子 副市長:加藤繁 総合政策部 部長:金子克明

政策調整課 課長:小島 坑 同副主幹:細沼 誠

蓮田・白岡地方ユネスコ協会

会長:田村勝彦 副会長:飯島剛 事務局長:江原泰子

顧問:中野和信

青年学生部 部長:長井杏海 副部長:江原美鈴



U-Smileに向かって～“フェーズTwo”への挑戦

会長 田村 勝彦

当協会は創立以来17年間、ユネスコ憲章の理念を地域に実現しようと、皆様の支援と協力を得ながら試行錯誤を繰り返しさまざまな活動に取り組んでまいりました。この活動の記録を読み返すたびに、私たちが直面する課題だけでなく、さらに先の活動、いわば“フェーズTwo活動”の姿について、じっくりと考える必要があると感じています。

昨年からは開始したこども支援活動(U-Smile事業)は、従来の会員主対象の活動とは一線を画し、社会的使命をより意識した取り組みです。具体的には、様々な諸事情で困難を抱える子どもたちに対して、同じ地域に住む私たち大人や各立場の間で連携し、さまざまな支援(ものだけではなく繋がる機会など)を通じて子どもたちが社会で生き抜く力を身につけるよう支援協力をしていこうではないか、ということです。

当協会のこの呼びかけには早速反応があり、地域、若者達がVolunteer(自発的に行動を起こすこと)を始め子どもたちと交流を始めています。この新たな試みには大小さまざまな問題が伴いますが、「Where there is a will, there is a way(意志あるところに道あり)」というように、困難があっても強い意志があれば道は開けます。困難が大きいほど、それを乗り越えたときの喜びもまた大きいでしょう。

会員の皆さん、一緒にこの挑戦を始めましょう!



第2回 平和の鐘を鳴らそう in 慶福寺

蓮田市慶福寺 2024年7月19日(金)

梅雨明け猛暑の中、今年も慶福寺の関口ご住職のご厚意で本堂をお借りして40数名が集まり鐘の音に平和の願い・鎮魂を込めて打鐘致しました。

はじめに、田村会長からの「ユネスコ憲章の成り立ち」や「世界で初めて民間ユネスコ運動が発祥した7.19」の紹介のあと平賀理事から「平和宣言」が発せられ、ご来賓として教育委員会堀内課長の挨拶を戴きました。

今回特別参加を戴きました市内在住のファッションデザイナー幾田桃子さんからも、ご自身でデザインされた素敵なエプロンを当協会にご寄贈戴きました。平和に寄せるお話に続き、平和の詩を「花びらの会」皆様により「語り継ぐ戦争」と題して朗読していただき「空襲で逝った姉ちゃんを思う」・・・など6篇、心の籠った詩の朗読は参加者の胸に強く強く響きました。蓮田市合唱連盟会長の関口茂さんの指揮のもと「翼をください」「夏の思い出」・・・など、平和を願う歌を心を込めて参加者全員で合唱致しました。

最後にご住職からの講話は昭和19年に撮影された貴重な写真を手にされ、当時の困難な生活や平和の鐘が軍需用に供出された記録を基に平和の尊さを実感させるお話を戴きました。最後は参加者全員の打鐘で平和の鐘を「世界平和と安寧・鎮魂」を胸中に荘厳な音の響きを伝え、合掌して終了致しました。

参加者からは、みんなでこの短時間で平和を願う活動をし、平和の尊さを再確認できたことはとてもよかったという声もいただきました。



蓮田市商工会主催「蓮田市さくらまつり」に参加

3月23日(土)蓮田市荒川河川敷で開催され当協会も参加しました。

当日は桜のつぼみも固く、朝から曇(みぞれ)まじりの雪で会場の芝生はうっすらと雪化粧でした。「桜の咲かない桜まつり」となりましたが、雪がふりやんだ頃、蓮田市長の山口京子様がお見えになりました。その頃会場は人も増え隣の子ども食堂では綿あめに長蛇の列ができ、桜まつりの雰囲気になっておりました。

当会場は、おたすけ子ども食堂を積極的に運営している吉田自動車様のご厚意で同じブースに間借りさせていただきました。今年度から協力者を募ろうとしたU-Smile事業(当協会呼称は「U-スイミー」)をどの様な人に話かけをしたら良いものか迷いましたが、青年会員の作成した「ニュースレター」を150部夕方には全て受け取って頂きました。今後子ども支援、子どもの居場所づくりに結びつくよう祈るばかりであります。

蓮田市商工会へは田村会長、江原事務局長が「ニュースレター」を持参し協力を呼びかけ挨拶訪問しました。

桜まつりで地域の団体と連携出来た事はとてもよかったと思います。次回出展する場合は大評判の綿あめ売りをヒントに当協会でも「甘酒」でも取り扱い、立寄りやすくするのはどうかとの意見も出ました。ボランティア、学生会員の皆様、寒い中ご協力頂き有難うございました。(飯島)



U-スイミー～みんなでつくる こども・若者の居場所～

8月4日(日)蓮田西口行政センターにてオープニングイベント

「海と触れ合う感動体験を！！」with 東京海洋大学 igoan



当協会の学生・青年会員で結成されたU-スイミーメンバーと東京海洋大学のigoanユネスコクラブの学生との初コラボ企画に小中学生40名が参加致しました。

イベントは当協会のU-スイミーのリーダー長井杏海さんの司会、江原美鈴さんの「海の平和ってなかに」というなげかけからスタートした。SDGs14にふれて海の平和を守ることは世界の国々をみんなでつなぐ為には不可欠な存在である事を伝えました。

次に市内の歴史や地形などを研究されている団体、榛の木代表の山本さんによる「昔、蓮田が海って知ってた？」というテーマで大昔、蓮田は本当に海があった？、その根拠として市内に貝塚の跡が残っていたという話をしていただき地域を知るキーワードとして「貝」の話題に移りました。

そして東京海洋大学のigoanさんにバトンタッチ。「アコヤ貝から世界にたった一つだけの真珠を取り出そう」の感動体験につながりました。igoanの更井さんのユニークな司会とグループディスカッションで場も和やかになりました。アコヤ貝の生態について学んだ後は、実際にひとり1つずつアコヤ貝を開けて貝の体の構造をスケッチ。いよいよ、世界に一つだけの真珠を取り出しました。

一人一人違う色や形、輝きをもった真珠が子どもたちの大事な宝物になってくれば・・・とねがい、子どもだけでなく、大人にとっても感動体験を体感できたよい一日となりました。

omake

この日までigoanユネスコクラブの幹部、U-スイミーの幹部たちは試験中、就活中でも何か月も前から5回以上を超えるミーティングを重ねて準備をしてきました。U-スイミーの会員達も事前の打ち合わせを入念にし臨みました。イベントを企画する側の楽しさだけではなく、難しさも今回の経験を通して体感し、次につながる課題もできました。子ども、若者、大人の関わりを考え、一体感を味わうたのしさも学んでくれたと思います。今後の活動にも繋いでいけるように事務局、コーディネーターでサポートしていきます。一緒に自発的に活動したい方がいらっしゃいましたら是非一度ご一緒してみませんか？（文責・内山尚子）

Volunteer: shuto shintaro kashu shiho ohtaro rin
mana misuzu hinano ririka koharu ami miho naho sesami



NEW MEMBER INTRODUCTION

新会員紹介

長井 杏海
ながい あみ



白岡市出身

元々子ども食堂のボランティアをやっており、子ども支援やボランティアに興味がありました。江原さんの紹介でこの活動を知り、1から居場所を作ることやイベントの企画をやってみたく思ったのでこの活動に参加させてもらっています。(前回、行なったあこや貝から真珠を取り出すイベントでは学生会員の方が全員揃いました。優しい方ばかりでこれからの活動が楽しみです。)

森岡 美帆
もりおか みほ



蓮田市出身

私が初めてユネスコに触れたのは小中学校の頃で、様々な話を聞くことで「当たり前」が実は当たり前ではないと気付かされました。大学生となり、ユネスコ協会の一員になれるとは思ってもみませんでした。福祉の分野で人の役に立ちたいと考えているので、貴重な学びや出会いを大切にしたいと思います。活動を通じて、誰かの支えや活力となればと考えています。

赤木 来歩
あかぎ なほ



蓮田市出身

入会の動機は、生まれ育った地域に貢献したい気持ちと、新たなコミュニティで自分の可能性を広げたい考えからです。私はこれまであまり積極的に人と関わることがなかったため、新しい挑戦を通じて視野を広げたいと思っています。また、参加者全員と知識や楽しさを共有しながら、興味を探求し合い、共に成長できる活動を目指します。孤独ではなく、互いにフォローし合いながら、ゆっくりでも前進できればと思います。

会議 / 活動記録

- 2024.2 ● 第58回日本ユネスコ協会連盟評議員会出席 2024.2.10
オンラインZoom会議参加報告
(協会連盟事務局がホストとなり各評議員のPCと繋ぐ)
- 2024.4 ● 埼玉県ユネスコ連絡協議会総会出席 2024.4.23
寄居町中央公民館
- 2024.5 ● 第17回 蓮田・白岡地方ユネスコ協会定時総会開催 2024.5.18
蓮田市立図書館視聴覚ホール
前年度決算報告・2024年度事業計画・役員改選・会則改定・U-Smile
事業計画など決定
第12回寺子屋講座 講師日本ユネスコ協会連盟 仁藤里香課長(小山田理事
ゲスト)
- 2024.6 ● 第76回日本ユネスコ協会連盟定時総会出席 2024.6.15
新宿エルタワー30階
- 2024.7 ● 気仙沼へボランティア参加 2024.7.13~7.15
主催: がんばろうつばさネットワーク第16回東日本大震災復興支援高校生現地
ボランティア 参加者: 江原、吉田会員(おたすけこども食堂代表)
- 2024.8 ● 第59回日本ユネスコ協会連盟評議員会出席 2024.8.3
新宿エルタワー30階

今後のお知らせ

- 2024.9 ● 国際文化スタディ 2024年9月28日(土)14:00~16:00
場所 蓮田市総合文化会館 ハストピア 多目的ルーム
内容 帰国大使が語るモルディブ共和国
~地球規模の環境変化への警鐘~ 講師 柳井 啓子
会員・学生: 無料 一般: 300円
お問い合わせ先: 070-2211-0329 (事務局)
- 2024.12 ● 文化遺産巡り 2024年12月7日(土)
予定: 渋沢栄一記念館・塙保己一・道の駅「花園」

お問い合わせください

当協会の活動の中で自主的にお手伝いをしたいという方(18歳以上)
= **volunteer** を募集しています。様々な形で関わられる機会です。
まずは説明会にて。お問い合わせは、各種QRコードから。



詳しくはこちら



▲ HP

<http://www.hasuda-shiraoka.jp.org>

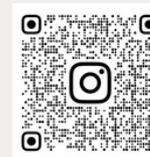
編集後記



ご覧のように本号より横書きを採用することと致しました。編集委員会を立ち上げ製作を内山尚子、内山里々花、記録を内山小桜、校正を向山裕規が担当致しました。若い人の感性が少しでも感じていただければ幸いです。試行錯誤の連続ですが今後の紙面作りにご期待ください。



▲LINE



▲Instagram



▲U-スイミー
登録フォーム

発行人 蓮田・白岡地方ユネスコ協会 会長 田村勝彦

〒349-0141 蓮田市西新宿3-55-15 電話・FAX: 048-768-8300 E-mail: tamuzo@d6.dion.ne.jp